

元気っ子しゅうごう

問 経営企画課広報戦略係
☎95-9867



ホームページID
5865

申し込み



2人の笑顔がパパとママの元気の源だよ！これからも色々な経験をして、毎日笑顔で楽しく過ごそうね。

(入船町)

左：石田 ^{ぜん} 禅ちゃん
2019年3月1日生まれ

右：石田 ^{なる} 成ちゃん
2022年2月22日生まれ



尚汰君の笑顔にみんな癒やされて毎日幸せです。これからもいろんなところにお出かけしようね。

(神有町)

上代 ^{なおた} 尚汰ちゃん
2021年12月25日生まれ

すいすい水族館

クマノミの「共生」と驚くべき繁殖のメカニズム

問 海浜水族館 ☎48-3761

「クマノミ類」はスズキ目スズメダイ科クマノミ属に分類される魚類です。鮮やかなオレンジ色のからだに真っ白なラインが入ったかわいいう姿は映画の主人公になるほどの人気者です。

クマノミ類の大きな特徴は2つあります。1つ目はイソギンチャクと共生することです。クマノミは毒針を持つイソギンチャクに免疫があるので、寄りそって自分の身を守ってもらう代わりに、イソギンチャクの身の回りのお世話をするという「相利共生」の関係をもっています。

2つ目の特徴は、雄性先熟の性転換をすることです。クマノミ類は、小さいときは性別がありません。何尾かが住んでいるグループの中で最も大きい個体がメスになります。そして次に大きな個体がオスとして、メスとペアになり繁殖します。もしもメスがなくなると、2番目に大きかったオスがメスに性転換し、3番目に大きかった個体がオスに成熟して新たなメスとペアになるのです。種の存続のための驚くべきメカニズムですね。

碧南海浜水族館のバックヤードでは、クマノミ類の飼育・繁殖を行っています。オレンジの体に、縁どられた3本の白い帯が走っている様子がとってもチャーミングなカクレクマノミ。その濃いオレンジの体から「トマト」というニックネームもあるハマクマノミ。白帯が背中中に走り、それが名前の由来にもなっているセジロクマノミです。3月18日(土)から開催する特別展「クマノミの世界」では、この他にも日本近海に生息するクマノミ類を鑑賞できます。



△カクレクマノミ



△ハマクマノミ



△セジロクマノミ

COVER

今月の表紙

“本物”を食べて大きくなって (12月17日(土) 文化会館)

男性の料理への参画促進を目的とした「“おとう飯”始めよう」キャンペーンの一環として、ブランドニンジン「へきなん美人」を使い、「父と子の料理教室」が開催されました。どの参加者もおいしそうに食べる姿に、本物のおいしさが伝わった瞬間を見ました。

